



小須戸ARTプロジェクト2026

参加作家募集要項

主催：小須戸 ART プロジェクト実行委員会

助成 | 一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団、公益財団法人内田エネルギー科学振興財団



小須戸ARTプロジェクトは、2012年の水と土の芸術祭をきっかけに始まった、アーティスト・イン・レジデンスを中心としたアートプロジェクトです。これまでに、公募により選ばれた延べ30組を超えるアーティストやクリエイターが、小須戸地域の歴史的建造物である町屋に滞在しながら地域をリサーチし、滞在制作などにより成果の作品化と地域での展示公開を行ってきました。今年度も、地域に滞在しての作品制作や今後の制作に向けた地域のリサーチに取り組むアーティスト・クリエイターの募集を行います。興味・関心のある皆さまのご応募をお待ちしています。

To artists considering participating from overseas

Due to limited funding for this project, applicants are primarily expected to reside in Japan. Therefore, the application guidelines and application form are mainly written in Japanese.

While we welcome participation from artists residing overseas, please be aware that participation from abroad may incur significant out-of-pocket expenses.

For details regarding grant amounts and other information, please carefully read the application guidelines using a translation tool.

■2つの応募枠について

本プロジェクトでは、今年度のプロジェクトでリサーチと成果発表を完結させる「成果発表枠」、次年度以降の成果発表に向けて地域のリサーチを行う「リサーチ枠」の、2つの参加形式を設けて、参加アーティストを募集します。

	成果発表枠	リサーチ枠
特徴	今年度のプロジェクト内で、地域でのリサーチ及び作品展示などの成果発表を行います。	次年度以降の成果発表に向けて、今年度地域を訪れて制作に向けたリサーチを行います。
実施する 取り組み	地域リサーチ+成果発表（作品展示などの実施）	地域リサーチ+レポート提出（+次年度以降の成果発表）
制作費 支援	9万円	4万5千円
応募書類	応募申込フォームの送信に加え、A) 制作作品イメージ、展示イメージ（様式任意）の提出が必須。 B) ポートフォリオ等、過去の制作作品、制作のテーマ等をまとめた資料（様式任意）は任意提出。	応募申込フォームの送信。 B) ポートフォリオ等、過去の制作作品、制作のテーマ等をまとめた資料（様式任意）は任意提出。

■実施期間

作家受入期間 | 8月10日前後（応相談） ～ 10月9日（金）のうち希望する期間

受入期間中に地域を訪れ、今後の創作活動に向けたリサーチ活動（最低5日間程度を想定。活動日が連続する必要は

ありません。)を行ってください。

成果発表期間 | 10月10日(土) ~ 11月3日(火・祝)

制作した作品の展示公開等を行います。なお、公開日時は、展示会場ごとに事前に調整します。

※原則として11月3日の展示公開終了後に搬出・撤収作業を行い、なるべく同日中に撤収を完了してください。

※会期初日にオープニング(参加作家による作品解説会等)を予定していますので、必ず参加をお願いします。

※同会期中に、2025年度リサーチ参加作家の越智良江による成果発表も予定しています

■募集組数と募集条件

募集組数 | 最大4組程度(リサーチ2組、成果発表2組)

募集条件 | 応募にあたっては、以下の条件を満たす事をご確認ください。

- 1) 健康状態が良好であること
- 2) 地域住民と良好な関係で交流ができること
- 3) 現代美術やそれに類する分野で活動していること(経歴不問)
- 4) 日本語での日常会話が、日常生活を行う上で支障なく可能であること
(外国人の場合。ただし、AIなどの翻訳ツールの利用は可能)
- 5) プロジェクトの発展に向けて、今後も継続して地域に関わる意思があること

■参加作家への支援内容

○制作費支援 最大9万円(作家1組あたり)

・リサーチ枠への支援 4万5千円

リサーチ実施にかかる謝礼や経費(交通費や謝金、滞在に係る諸経費等を含む)を支援します。

・成果発表への支援 4万5千円

成果発表枠での参加者には、材料費や謝金などの必要な経費として、さらに4万5千円を支援します(合計9万円)。

・制作費支援に関する補足

- ・プロジェクトへの参加にあたり支援額以上に経費がかかった場合には、超過分は作家側での負担をお願いします。
- ・支援金の支払いは原則として事業完了後となります。

○リサーチ・制作・展示拠点の貸し出し

希望する作家は、リサーチや制作・展示の拠点として「町屋ラボ」を、使用料・光熱水費(電気・水道代)を無料で利用できます。ただし、作家本人が使用する消耗品(ゴミ袋や洗剤、カセットコンロのガスボンベなど、作家の日常生活で使用、消費するもの)は、各自ご用意ください。

○自転車の貸し出し

希望者には自転車を無料で貸し出します（台数には限りがあります）。

※小須戸本町通りの周辺は、徒歩圏内にスーパーやホームセンター等がありますが、公共交通が充実した地区ではないため、自動車の利用を推奨します。駐車場は、地区の来訪者用駐車場が利用できます。

※公共交通機関を利用して来訪する場合、最寄り駅（JR 矢代田駅）までの送迎、自動車を利用しての買い出しについては随時ご相談ください。ただし、対応できない場合もあります。

※保険の加入について…健康保険及び傷害保険は作家側で加入してください。主催者は作家の保険加入などに関する責務を負いません。

■制作する作品について

当プロジェクトでは、以下のいずれかに該当する作品の制作・展示、そのために必要なリサーチの実施を前提としています。ジャンルは問いませんが、プロジェクトの主旨に反する判断されるものは、制作・展示をお断りする場合があります。

a) 地域の歴史や伝統産業等に関連したものや、そこからアイデアを展開させたもの

例 | 木瓜などの花卉栽培、小須戸編、舟運や機業の歴史、信濃川、里山の自然環境等、地域の歴史や特性を読み取り、それを反映させた作品等

b) 町屋・空き家の再生や新たな魅力の発見につながるもの

例 | 展示会場となる町屋や店舗の空間を活用したインスタレーション作品等

c) 町屋・町並みの風情の演出につながるもの

例 | 町並みへ設置するのれんやオブジェ

d) 地域住民とのコミュニケーションや体験から生まれる物事を展開させた作品や、地域密着型のアートプロジェクト

■リサーチ枠における次年度以降の成果発表について

リサーチ枠は、次年度以降の成果発表を前提とした参加枠です。リサーチ枠参加者は参加後、今後地域で行う展示プランの提案等を含めたリサーチレポートを提出してください。提出されたレポートはプロジェクト WEB サイトで公開します（過去のリサーチレポートは[こちら](#)）。

リサーチ参加後の成果発表は、原則としてリサーチ実施の翌年度を想定していますが、内容や状況に応じて、**最大 2 年以内で実施することを認めます**。リサーチ後の成果発表に対しては、その年のプロジェクトの予算に応じて、成果発表への支援額（今年度であれば 4 万 5 千円）程度の支援を行う予定です。

また、リサーチの活動状況やレポートの展示プラン等を踏まえ、**翌年度以降の成果発表の実施可否については主催者が最終的に判断します**。内容や状況によっては、成果発表の実施を見送らせていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■活動拠点「町屋ラボ」について

名称 | 町屋ラボ (旧古川邸)

所在地 | 新潟市秋葉区小須戸 3668-3

設備概要 | 小須戸 ART プロジェクト 2018 の際に整備・公開した町屋です。

建物の間取り図、設備については図表を確認してください。

2階



1階



図 | 町屋ラボ間取り図



写真 | 町屋ラボ 和室



写真 | 町屋ラボ アーティストの居室

表 | 町屋ラボの設備など

ライフライン	家具・家電類	工具類	Wi-Fi
電気、水道使用可、ガス未導入(カセットコンロ利用可)。トイレは簡易水洗式。浴室はポータブルシャワーしか使えないため、付近の入浴施設(小須戸老人福祉センター、温泉健康センター花の湯館・どちらも有料)の利用を推奨します。	寝室は3畳程度が2部屋、それぞれベッドと布団有。冷蔵庫、洗濯機、掃除機、電気炊飯器、電子レンジ、電気ポット、電気ヒーター、オイルヒーター、1階板の間と2階アトリエ・ギャラリースペースにはエアコン(寝室はエアコンなし)	丸ノコ、卓上スライド丸ノコ、インパクトドライバー(有線)、その他大工道具、簡単な工具類一式は揃えています。詳細はお問い合わせください。	町屋ラボにWi-Fi環境はありません。希望者には滞在中にポケットWi-Fiを有料で貸し出します(3,000円/月、月単位の課金となるため、滞在期間が月をまたぐ場合は2か月分の料金が発生します。)

周辺環境 | 江戸から大正時代にかけて信濃川の舟運で栄え、当時の町屋が建ち並ぶ商店街です。周辺は信濃川、新津丘陵の里山、蒲原平野の田園風景等、自然も豊かです。周辺では町並みに合わせた建築物の外観改修等も行われています。徒歩圏内にスーパー、ドラッグストア、ホームセンター、カフェや飲食店があります。

作家の同時滞在に関して |

町屋ラボの同時滞在の推奨人数は2名です(団体の場合は3名まで応相談)。本プロジェクトでは、共同滞在によって生まれる作家の交流や相互作用もAIRの意義のひとつと考えており、また、滞在日程ではなく制作プランを優先して選考を行うことから、必要に応じて調整は行いますが、主催者として共同滞在を避けることは基本的に行いません。見知らぬ作家同士で同時に滞在する場合がありますので、他者との空間共有に強い抵抗がある方は、事前にその点をご理解のうえご応募ください。

なお、選考時には可能な範囲で異性の作家との同時滞在にならないよう配慮し、必要に応じて調整も行いますが、やむを得ず異性の作家に同時滞在をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■展示会場について

小須戸本町通り周辺の町屋や店舗を、展示会場候補として参加作家に紹介します。今年度は特に、1〜2軒の空き家などを、新たに会場として利用する予定です。

参加作家は複数の展示会場の利用を希望できます。新作の展示のほか、過去作を持参しての過去作展の会場としての利用も可能です。また、過去作と滞在制作中に制作した作品を組み合わせることもできます。(最終的には主催者側で調整し、決定します。)

過去の展示会場については、[プロジェクトWEBサイト](#)をご確認ください。

<会場の下見について>

下見会の予定はありませんが、ご希望の方には可能な範囲で個別対応いたします。

ご希望の方は、事前にお問い合わせください。

- ・下見実施の有無は選考には影響しません。
- ・交通費等の経費は参加者の自己負担となります。
- ・ご不明な点はお問い合わせください。

■滞在中の活動について

- 1) 原則としてオープニング（10/10）までに、作品の制作・展示を完了し、公開可能な状態としてください（成果発表枠参加での作品展示に限らず、リサーチ枠参加での「リサーチレポート」も、この日までに提出されることが望ましい）。
- 2) 主催者は盗難等の被害の責任を負いません。盗難に遭わないような展示を心がけてください。
- 3) 紹介する会場は、歴史的に価値のある町屋や、所有者の思いの詰まった店舗です。作品の制作・展示は、原則原状復帰が可能な範囲で行ってください。展示会場に改変を加える場合、必ず事前に主催者及び会場の代表や所有者の許可を得てください。
- 4) 店舗や生活の場として使われている町屋等で作品を制作・展示する場合、所有者の生活や店舗の営業を第一とし、その妨げとならない範囲で制作・展示を行ってください。
- 5) 上記条件を満たすことができるならば、通いや日帰りでの制作・展示もできます。

■作品等に関する権利について

①制作した作品について

作家が本プロジェクトの補助を受け、滞在制作により制作した作品等の所有権及び著作権は、原則制作した作家にあるものとします。ただし、主催者は事業の広報・宣伝等のために作品等の写真・動画等を使用する権利を有します。

②本プロジェクトの支援で購入した物品の扱いなど

作家が本プロジェクトの支援を受けて購入し、展示会場等に設置した物品（照明器具、展示棚、その他物品）は作家が所有するものとします。同時に、展示終了後に撤去や廃棄が必要と判断される場合は、設置した作家が撤去や廃棄を行う責任を持ちます。

■作品等の販売について

プロジェクトの成果発表期間中、小品等を展示会場等に委託して販売を行うこともできます。

希望する場合は、手数料や販売方法などの条件を各会場と調整します。

■応募について

1) 応募の方法

今年度より応募申請書を廃止し、[応募申込フォーム（Google フォーム）](#) で応募を受け付けます。
フォームに必要事項を入力し、送信してください。

2) フォーム以外に必要な応募書類

フォームの送信に加え、応募に際しては以下のファイルを送信してください。
特に成果発表枠への参加希望の場合、A) 制作作品イメージ、展示イメージの提出が必須です。
フォーム入力のみでは応募は完了しませんので、ご注意ください。

<フォームの他の提出ファイル>

A) 制作作品イメージ、展示イメージ（様式任意、成果発表枠応募者は提出必須、リサーチ枠参加者は提出任意）

現時点で想定する制作作品や、展示演出方法がわかるイメージ、写真、スケッチ等

B) ポートフォリオ等、過去の制作作品、制作のテーマ等をまとめた資料（様式任意、提出任意）

選考の参考とするために、ポートフォリオ等の参考資料があれば送付してください。

なお、各ファイルのサイズは1ファイルあたり10MB以下としてください。

ファイルサイズの規定が守られない場合は、選考対象外とすることがあります。

<必要書類の提出方法>

提出方法は[応募申込フォーム（Google フォーム）](#)中に記載していますので、ご確認ください。

3) 応募期間 2026年7月20日（月・祝）（同日中必着）

■選考と結果の通知について

1) 選考方法

プロジェクト実行委員及び選考委員による書類選考を行います。

なお、選考に際して応募内容に不明な点がある場合は個別に応募者に確認する場合がありますので、お手数ですがご対応をお願いします。

選考委員 | 南条嘉毅（美術家、プロジェクトアドバイザー）

森健太郎（Katsurao Creators Commons ディレクター、八戸工業大学講師、2025 年度参加作家）

uyu（小須戸在住イラストレーター、2025 年度参加作家）

2) 選考期日

2026年7月下旬から8月上旬に実施予定

3) 選考結果の通知

選考結果については、選考が済み次第（遅くとも8月上旬までを目途に）[プロジェクト WEB サイト](#)、[フェイスブックページ](#)等に掲載します。

審査結果についてはメールで個別通知いたしますが、審査結果に関するお問い合わせには一切応じられませんので、ご了承ください。

■実施体制

主催：小須戸 ART プロジェクト実行委員会

助成：一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団、公益財団法人内田エネルギー科学振興財団

■お問い合わせ

kosudo.art (@) gmail.com

※お問い合わせは上記電子メールの他、プロジェクト WEB サイトの問い合わせフォームからお願いします。

それ以外の手段でのお問い合わせは受け付けておりません。